

Mass photometry 法蛋白質純度測定装置

MyMass^{MP}



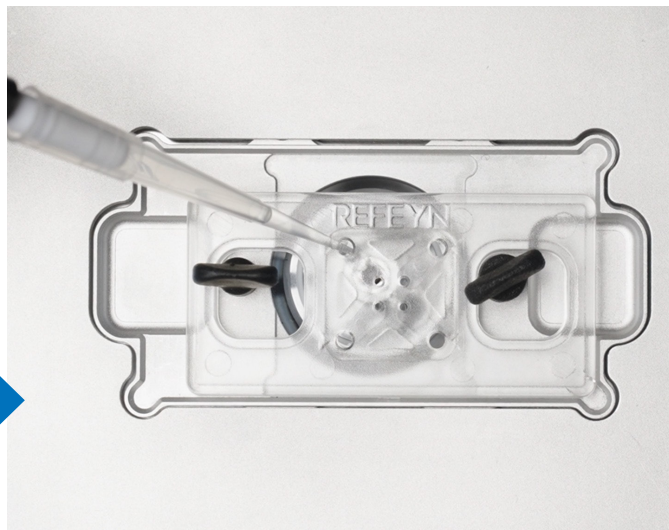
1 滴で蛋白質試料の純度測定

完全溶液系で蛋白質の
単量体 / 複合体の比率解析がごく簡単に実施できます



電源 ON/OFF

- ・ 立ち上げてから 60 秒後に使用可能
- ・ PC を必要としないタッチパネルでの操作
- ・ 通常実験台で 60 cm の幅があれば設置可能

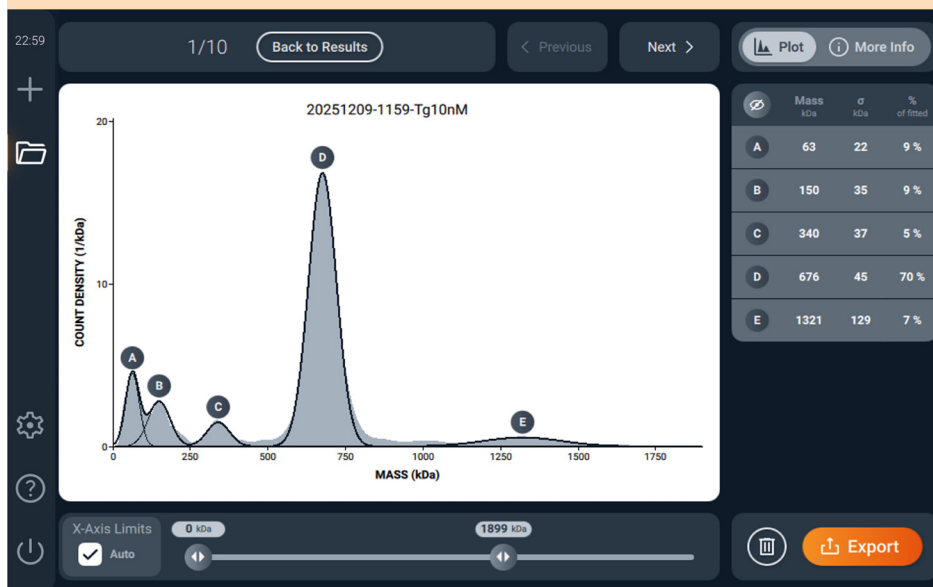


サンプリング

- ・ ピペッターで 30 μ L のサンプルをアプライ
- ・ サンプルと接触するのはスライドカセットのみなのでコンタミネーションの恐れなし

測定 / 解析

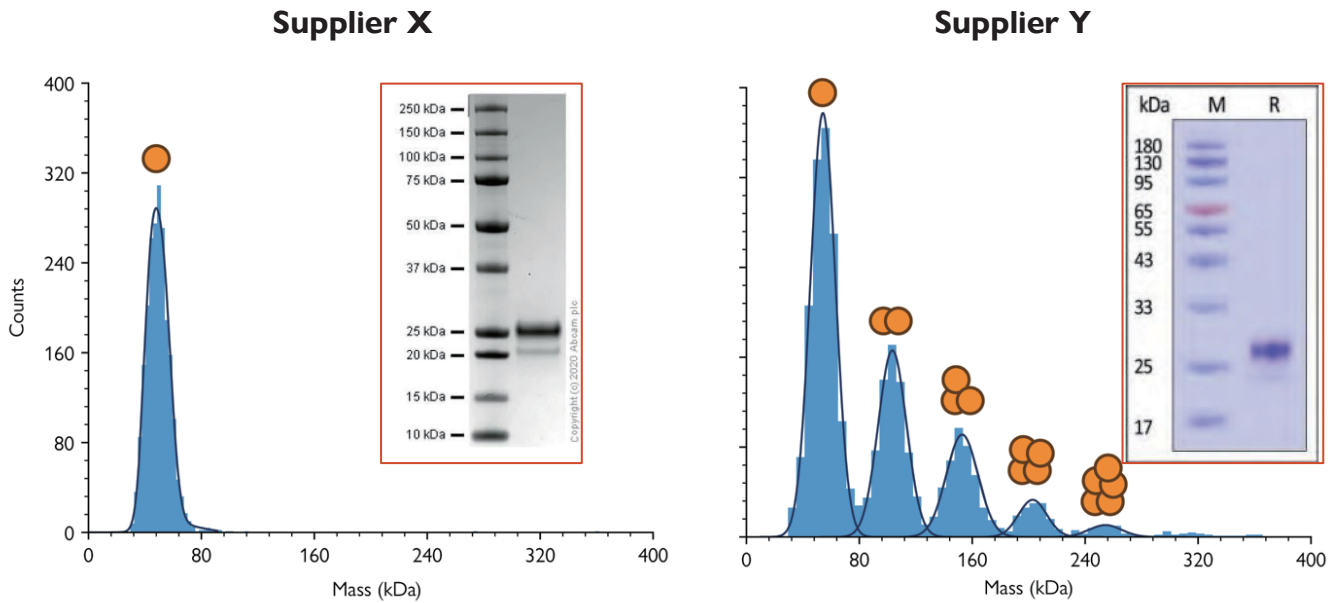
- ・ 10 nM 程度の試料が 30 μ L で計測可能
- ・ 化学量論 (Stoichiometry) の算出が可能
- ・ リアルタイムでの分子量分布表示
- ・ 1 分間の測定時間で結果が表示
- ・ ピークのオート表示およびマニュアルで選択可



蛋白質の純度測定例

Supplier の違いによる VEGF(血管内皮増殖因子)の純度測定

精製された蛋白質は、よく SDS-PAGE でその純度評価が行われますが、溶液中では全く異なるふるまいをすることがあります。ここでは、SDS-PAGE および Mass photometry 法にて、2つの異なる Supplier による VEGF の純度を比較しています。SDS-PAGE では純度としてほとんど違いが見出せませんでした。Mass photometry 法では純度に大きな違いがあることが示されました。



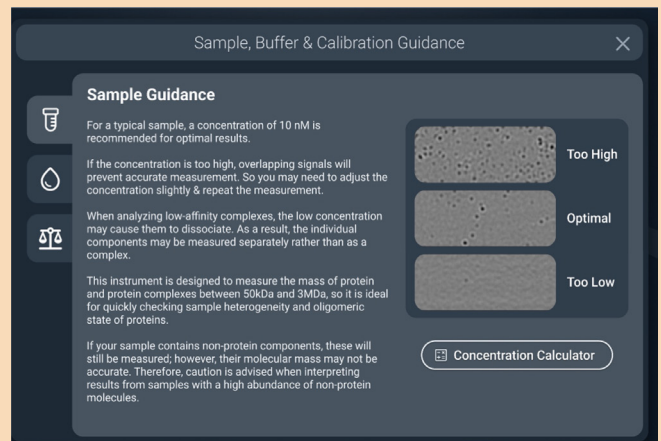
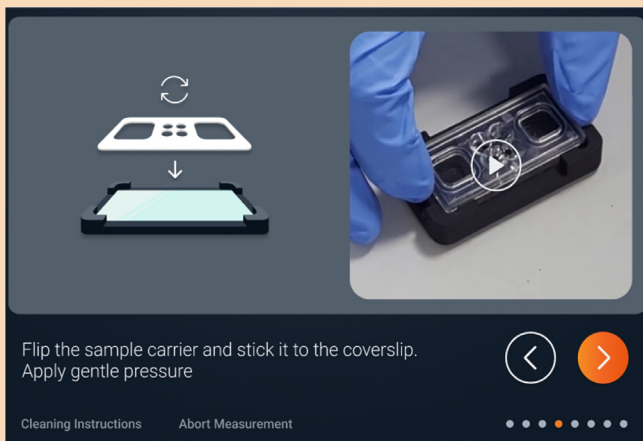
画面上での測定サポート

MyMass^{MP} のオペレーション

MyMass^{MP} では、ごく簡単なオペレーションによって分子量分布結果をお届けします。

そのため、細かなオペレーションの間違いを防ぐため、タッチパネル上で測定のアドバイスや動画によるオペレーションのサポートを行います。

これらの機能によって、誰でも同じような結果の獲得が期待されます。



Mass photometry 法蛋白質純度測定装置

MyMass^{MP}



仕様

原理	Mass photometry 法
測定項目	分子量分布、ピーク頻度
レーザー波長	532 nm
測定範囲 (値保証)	55 kDa – 3 MDa
分解能	38 kDa@66 kDa 118 kDa@670 kDa
測定正確性	10% 以内
測定精度	5% 以内
測定濃度	1-50 nM

諸元

装置サイズ	本体：560×375×380 mm (W×D×H) PC 等の付属品不要
装置重量	約 15 kg
必要電源口	100 V、1 口
Well 数	4 個
設置環境	20-25℃、エアコンの風が直接あたらない 70% 以下の湿度 * 事前に 20-25℃の範囲で設定

仕様・諸元は予告なく変更することがあります。

より詳細な分子量分布解析や分子間相互作用には Two^{MP} も併せてご検討ください



REOFEYN
WEIGHING MOLECULES WITH LIGHT

レフェイン・ジャパン株式会社

〒657-0036 神戸市灘区桜口町 1-1-14 1F

TEL.078-600-2380

info@refeyn.com

<https://refeyn.co.jp>